

福井県立奥越高原青少年自然の家(1/2)



所在地	大野市南六呂師169-8		
設置年月日	昭和47年1月5日		
施設の種類	宿泊・研修施設	施設管理主体	県
設置の目的	青少年を対象とした各種体験活動や研修会などを開催し、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造3階建、延7,335.93㎡ 宿泊室(350名)、研修室(洋2、和2)、多目的ホール、体育館、スキー用具室、キャンプ場3箇所(428名)		
職員数	職員14人		

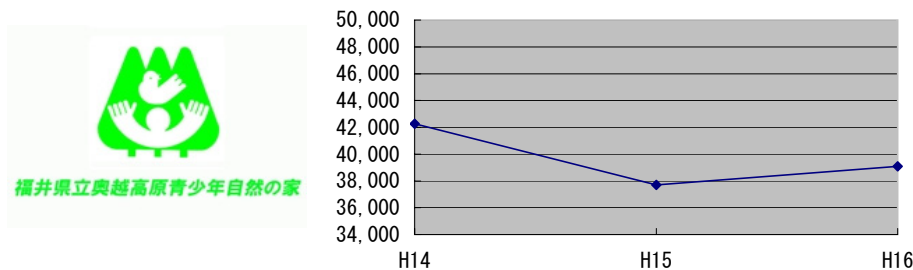
利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	42,268	37,703	39,085

利用者負担(利用料金)等

宿泊棟 利用料	26歳以上	1,100円
	26歳未満	620円
	高校生	470円
	小・中学生	310円

利用者数の年次推移



利用状況の推移 近年、小・中学生の利用が減少傾向になってきていますが、高校・大学の部活動研修および企業の研修等の利用により、わずかに増加しています。

16年度の特徴について

事業実績

学校や青少年団体の野外体験活動、研修活動および県内外の団体に利用されています。

サマーチャレンジ教室・ファミリーキャンプ・合宿通学・紅葉登山・白銀のつどい等、奥越高原の豊かな自然を活かした主催事業を開催しました。

子どもの居場所づくり事業として「もりっ子教室」を開催しました。

キャンプカウンセラーの養成研修を開催しました。

ホームページを開設しました。

近隣施設との連携

県自然保護センター、県奥越高原牧場、ミルク工房奥越前と連携した天体観望や牧場体験、アイスクリーム作り体験を行っています。



カウンセラー研修

サマーチャレンジ教室
野田の滝までハイキング



福井県立奥越高原青少年自然の家(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	139,594	50.6%
	退職給与引当金繰入	▲ 3,936	-1.4%
	計	135,658	49.2%
物にかかるコスト	物件費	57,971	21.0%
	維持補修費	7,132	2.6%
	減価償却費	54,414	19.7%
	計	119,517	43.3%
その他	公債費(利子)	20,415	7.4%
	その他	82	0.1%
	計	20,497	7.5%
合計		275,672	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	2,238,919	固定負債	311,233
投資等	0	流動負債	230,233
流動資産	0	正味資産	1,697,453
計	2,238,919	計	2,238,919

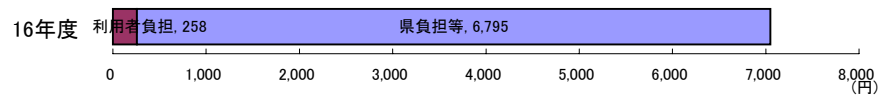


(単位 千円)

収入			
収入	利用料等収入	10,077	3.7%
	その他収入	657	0.2%
	一般財源	264,938	96.1%

利用料等収入計	10,077,000 円
利用者1人あたり平均利用料	258 円
利用者1人あたりコスト	7,053 円

利用者1人あたりのコスト負担の状況



施設の特徴
勝山市と大野市にまたがる奥越高原県立自然公園の標高600mに位置し、周囲にある経ヶ岳を中心とする山と溪流、隣接する六呂師スキー場を利用して野外活動を体験できる山岳型拠点施設です。

今後の課題
近くに位置する県自然保護センター、県奥越高原牧場、ミルク工房奥越前などと連携した体験活動ができます。

大学生や青年を中心としたキャンプカウンセラーの育成の場として活用されています。

バランスシート、行政コスト計算書の特徴

平成7年に建築した建物の減価償却費や公債費のために、利用者1人あたりのコストが大きくなっています。



福井県立奥越高原青少年自然の家

今後の事業方針
子どもの居場所づくり事業として「もりっ子ほしぞら教室」、「もりっ子ハイキング教室」、「もりっ子たべもの教室」を実施します。

取組み内容
学校週5日制および少子化により学校の利用が減少傾向にあるので、県内の学校・公民館等へのパンフレット配布、ホームページでのPR等により 利用者の増加に取り組んでいきます。